



輝け 岡野っ子

岡野小・幼稚園
学校・園だより
10月号

「お陰様」の心

「お元気ですか」「はい、お陰様で……。」日本では、昔からこうしたあいさつを大切にしていました。「お陰様」という言葉には、次のような説があります。昔、旅人が暑い夏の日差しをしのぐために木の陰で休んだり、また、雨や風、雪を防ぐために木の陰で雨宿りをしたりしました。その木の陰に「お」をつけて「お陰」、さらに「様」をつけました。そこには「お陰様」で旅を続けることができましたと感謝する気持ちが込められています。木は旅人のために枝を張り、葉を茂らせていたのではありません。木はただ精一杯、木として生きるだけですが、木のお陰で旅を続けることができたのだと昔の人は考えたのです。

岡野小学校も多くの人が1・2学期に来校されています。運動会をはじめとして、子どもたちの姿を見て「お陰様で元気が出ました」と言っていたことが多々あります。結果として子どもたちの頑張りがたくさんの人たちに喜びと感動を届けることができるよう、これからも教育活動に取り組んでまいります。今後ともご理解・ご協力をお願い致します。

収穫の秋

☆秋といえば「収穫の秋」(お米・サツマイモ・黒枝豆)

5月にサツマイモの苗を植え、農業委員さんたちにお世話になり、大きく生長したサツマイモの収穫の時期がやってきました。そして、9月19日(木)には1・2年生と園児がサツマイモ掘りを体験しました。りっぱなサツマイモを掘り出して大満足でした。

9月27日(金)には5年生が、篠山産業高校のお兄さんお姉さんと一緒に稲刈り体験を行いました。一株ずつついでに刈り取り、鎌の使い方やいろんなことを教わりながら、楽しく秋を感じることができました。また、5年生は今後黒枝豆の収穫も控えています。



後期児童会選挙

「自分たちの学校を自分たちの手でよくしていこう」とするため、後期児童会役員選挙に勇気をもって立候補したみなさん、その勇気と心意気に拍手を送りたいと思います。演説の中では「あいさつのできる学校にしたい」「いじめのない学校にしたい」「みんな仲良くできる学校にしたい」と言った言葉が数多く出てきました。演説を聞く側の人たちも大変真剣に聞くことができました。岡野小学校全体でこのように真剣さのある雰囲気がつくれたことも大きな収穫です。



市長学校訪問

6年生を対象に、丹波篠山市長の酒井隆明さんが来校され、丹波篠山市の魅力や特色について詳しく説明していただきました。途中にはクイズもあって楽しく学ぶことができました。そして、最後はみんなでデカンショ音頭を踊りました。



盃山登山

5年生が盃山登山をおこないました。ガイドの方の案内で、自然の草花や木など詳しい説明を聞きながらの登山でした。当日は保護者の方もご参加いただき、誠にありがとうございました。子どもたちにとっては体験しながらの学習は、貴重な機会となりました。また、楽しく学習できました。



校外学習(1・2年生)

1・2年生が校外学習に行きました。行き先は伊丹スカイパークと伊丹市昆虫館でした。みんな楽しみにしていた通り、元気に全員参加できました。スカイパークでは、近くで飛行機が着陸したり離陸したりする迫りに圧倒されながらも、本物を見る楽しさに、目が輝いていました。また、昆虫館では班行動をしながら、館内を見学しました。集団でルールを守りながら行くことができたことは、大きな収穫でした。



百葉箱(ひやくようばこ)修繕に感謝

PTOのご厚意によって、本校の百葉箱(ひやくようばこ)の屋根を修繕していただきました。ありがとうございました。さて、百葉箱とは、気象観測(きしやうかんそうく)のために置かれています。気温や湿度をはかるために置かれたもので、太陽の光や風雨をさえぎるために温度計や湿度計をその箱で守っています。多くの学校で天気学習をしますので、設置されています。



空き缶回収にご協力ください

南駐車場付近に空き缶回収ボックスが設置されています。平素は空き缶回収にご協力いただいていますことに、深く感謝いたします。さてこの度、PTOの皆様方によって、以前よりさらに回収しやすい形でボックスを設置していただきました。さらなるご協力をよろしくお願いいたします。

